

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|------------------|---|--|------|----|--------|---|------|------|-----------|---|-----|-----|-------------|---|----|----|---------------|---|----|----|-------------|---|----|----|------|---|----|----|
| 仙台総合ペット専門学校 | 昭和58年10月22日 | 菅原 一博 | 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-20 (電話) 022-221-1112 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人 菅原学園 | 昭和35年3月26日 | 理事長 菅原 一博 | 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-10 (電話) 022-221-1111 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化・教養 | 文化教養専門課程 | PRO DOG TRAINER科 | 平成27年 文部科学省告示第13号 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | トレーニングのみならず幅広い知識を身に付け、様々な角度からペットオーナーをサポートできるドッグトレーナーを育成することを目的とする。在学中に仔犬を飼育することで、自身の飼育経験に基づいたトレーニングプログラムの考案や犬のライフステージに合った飼育方法、高度なケア技術を身に付けた人材育成を目指す。また、お客様をはじめ、地域の方々、スタッフ間での円滑なコミュニケーションをとるために、校内清掃やあいさつ運動、接客実習にも取り組み、周囲に対する心配りと率先して行動する力を養うことも目的である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成29年2月28日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2940 | 1080 | - | 1860 | - | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60人 | 31人 | 0人 | 5人 | 11人 | 16人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合勘案して行う。評価は、100点法とABCDの4段階法を併用して行い5割以上(C段階以上)の評価で合格とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■夏 季:7月25日～8月21日 ■冬 季:12月24日～1月10日 ■春 季:3月21日～4月10日 | | 卒業・進級条件 | 各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し進級および卒業を認める。卒業については、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認められた者とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・担任、科長との面談・保護者連絡の実施 ・スクールカウンセラーとの面談実施 | | 課外活動 | ■課外活動の種類 盲導犬ボランティア・ドッグフェスティバル・訓練競技会・スポーツ大会・文化祭・ドッグショー見学 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ペットショップ・ドッグトレーニング教室・ドッグカフェ ■就職指導内容 1年次:業界理解・自己理解・電話応対・履歴書作成 2年次:求人紹介・個人面談・応募書類作成 ■卒業者数 10 人 ■就職希望者数 10 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 100 % ■その他 : 100 % (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) | | 主な学修成果(資格・検定等)※3 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭動物管理士3級</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>2級愛玩動物飼養管理士</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定シニア3級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>1級愛玩動物飼養管理士</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>訓練士補</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> | | | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | 家庭動物管理士3級 | ③ | 12人 | 12人 | 2級愛玩動物飼養管理士 | ③ | 6人 | 5人 | ビジネス能力検定シニア3級 | ③ | 6人 | 6人 | 1級愛玩動物飼養管理士 | ③ | 3人 | 2人 | 訓練士補 | ③ | 1人 | 1人 |
| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭動物管理士3級 | ③ | 12人 | 12人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2級愛玩動物飼養管理士 | ③ | 6人 | 5人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ビジネス能力検定シニア3級 | ③ | 6人 | 6人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1級愛玩動物飼養管理士 | ③ | 3人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訓練士補 | ③ | 1人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 2名 ■中途率 6.4 % 平成31年4月1日時点において、在学者31名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者28名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的問題、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセリングルームの設置に加え、定期的に学校満足度・学校生活意欲調査を実施し、学生一人ひとりの抱える悩みを把握し個別面談に活かしている。また、必要に応じて保護者を含め担任、科長、副科長との面談を実施している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・菅原学園 特待生制度 ・菅原学園 奨学金制度(給付型奨学金) ・菅原学園 各種優遇制度(部活動優遇、課外活動優遇、皆勤優遇、資格・検定優遇、親族優遇) ・菅原学園 卒園児優遇制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | http://www.sugawara.ac.jp/pet/ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者から除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取り組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担任がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|--------------------------|-------------------------|----|
| 赤澤 暁昌 | 一般社団法人 全国ペット協会 事務局長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ① |
| 佐々木 淳子 | 命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ③ |
| 黒沢 久美子 | DOGSALON Karen 代表 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ③ |
| 伊東 則道 | 伊達の街動物病院 院長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ③ |
| 柳田 恵梨 | DOG SCHOOLやなぎ 代表 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ③ |
| 渡邊 圭 | (有)ヨネヤマ プランテーション ペットエコ仙台 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ③ |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年に2回以上開催する。開催時期については、カリキュラム編成や外部委員の方々の都合等を総合的に判断して決定する。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年12月26日 13:00～15:00

第2回 令和2年3月27日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

一般のお客様が求めているのが犬の専門的な「訓練」よりも普段の生活の中で必要になる「しつけ」を求めている。現在の授業構成は訓練実習が大きな割合を占めているが見直しをした方が良いとの意見をいただいた。また、学校内での授業だけでなく外に出て一般のお客様と係わる機会を増やした方が良いとの意見をいただいたので動物イベントやセミナーへの参加、福祉施設や保育園でのふれあい体験など外部との接触を増やした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業をとおして業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

警察犬、災害救助犬、家庭犬などの訓練・育成を行っている訓練所と教育協定を結び、実践に即した実習授業を実施する。これらを必修科目とし、連携して指導及び評価を行う。

| (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。 | | |
|------------------------------------|--|-----------------------|
| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
| 訓練実習(1) | 入種ごとの性質を理解し、その性質に合わせた遊び方や扱い方を学びながらトレーニングに活かすための基本的な技術を身につける。また、訓練をする際の心構え、トレーニングの方法を講義で学習し、必要な知識を身につけて犬と接することで、現場で行われているトレーニング業務への理解を深める | 有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所 |
| 訓練実習(2) | 自身の担当犬と共に性質や犬種に合わせた適正な飼育管理を学ぶ。また、性質、性格を踏まえたしつけやアジリティー、家庭犬訓練のトレーニング方法を身につける。 | 有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所 |
| 訓練実習(3) | 自分のパートナードッグで家庭犬訓練とアジリティーの高度なトレーニングを実践し、その犬の得意・不得意を見極めたトレーニング方法を学ぶ。最終的な目標として、家庭犬訓練中等科レベル、アジリティーⅠ度のトレーニング知識とコントロール技術を身につける。 | 有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所 |
| 訓練実習(4) | 入種ごとの性質を理解し、その性質に合わせた遊び方や扱い方を学びながらトレーニングに活かすための基本的な技術を身につける。また、訓練をする際の心構え、トレーニングの方法を講義で学習し、必要な知識を身につけて犬と接することで、現場で行われているトレーニング業務への理解を深める | 有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所 |
| ハンドリング実習 | ドッグショーにおける基礎知識と審査基準、その際に求められる犬のコントロール技法を講義と実習で習得する。犬のキレイな立たせ方や歩かせ方、犬のコントロール方法を学び、グルーミング実習や訓練実習など他の授業でも応用できる技術を身につける。 | 有限会社 犬の学校 警察犬宮城訓練所 |

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
 職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。
 なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(2)研修等の実績
 ①専攻分野における実務に関する研修等
 研修名「みちのくドッグフェスティバル」(連携企業等:株式会社マーブル&コー)
 期間:令和元年9月22日(日) 対象:教員・学生
 内容:一般の飼い主様が大量参加するドッグイベントの運営や補助を行った。
 どのようなお客様がいてどのような犬が飼育されているか、どのようなイベントが行われているかなどドッグイベントの現状を体験した。

②指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「就職指導講話会」(連携企業等:一般社団法人 宮城県専修学校各種学校連合会)
 期間:平成31年2月13日(水) 対象:飼育管理科 学生・教員
 内容:インターンシップに向うにあたっての「人から物事を教わる姿勢」について接客業に従事する上で欠かせないあいさつについて

(3)研修等の計画
 ①専攻分野における実務に関する研修等
 研修名「動物取扱責任者研修」(連携企業等:仙台市 主催)
 期間:令和2年 12月頃 対象:教員
 内容:動物業界の現状報告・法改正について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルヘルスの基礎知識」（連携企業等：みやぎジョブカフェ 主催）

期間：令和3年 2月頃 対象：学生・教員

内容：ストレスやメンタルヘルスについて学び、自己理解を深める

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|---|
| (1) 教育理念・目標 | ①理念・目的・育成人材像 ②学校における職業教育の特色 ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想 等 |
| (2) 学校運営 | ①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか 等 |
| (3) 教育活動 | ①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 等 |
| (4) 学修成果 | ①就職率の向上 ②資格取得率の向上 等 |
| (5) 学生支援 | ①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備 等 |
| (6) 教育環境 | ①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制 等 |
| (7) 学生の受入れ募集 | ①学生募集活動 等 |
| (8) 財務 | ①学校の財務基盤 ②予算・収支計画 等 |
| (9) 法令等の遵守 | ①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護 等 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援 等 |
| (11) 国際交流 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校内の施設や教育環境については特に問題は見当たらない。しかし、犬のトレーニングやお客様の環境は日々変化しており、さらに企業主催のセミナーや様々なドッグイベントなどに参加し、様々な経験を増やす機会を作るべきとの意見があった。その為、ドッグイベント参加やセミナー参加だけでなく新たに福祉施設での動物ふれあいイベントにも参加し、より幅広い活動を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|------------------------|-------------------------|-------|
| 赤澤 暁昌 | 一般社団法人 全国ペット協会 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 企業等委員 |
| 佐々木 淳子 | 命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 企業等委員 |
| 黒沢 久美子 | DOGSALON Karen 代表 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 企業等委員 |
| 伊東 則道 | 伊達の街動物病院 院長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 企業等委員 |
| 星 亮介 | (有)TRC 爬虫類倶楽部 仙台店 店長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 企業等委員 |
| 松本 久美子 | ペットケア クレア仙台 代表 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 企業等委員 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

公表時期：令和元年12月25日

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|---------------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | 学校情報の公開(目標、計画) |
| (2) 各学科等の教育 | 各科の案内 |
| (3) 教職員 | 教職員数 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | 資格取得・就職実績 |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | 校舎・設備 |
| (6) 学生の生活支援 | 学生寮 |
| (7) 学生納付金・修学支援 | 学費について・入学サポート制度について |
| (8) 学校の財務 | 財務状況 |
| (9) 学校評価 | 自己評価・学校関係者報告 |
| (10) 国際連携の状況 | |
| (11) その他 | オープンキャンパス |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL:<https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

授業科目等の概要

| (文化・教養 専門課程 PRO DOG TRAINER科) 令和元年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|----|------|------|-----------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | | | | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| | ○ | | | キャリアガイダンス(1) | 様々なシチュエーションでの電話対応、履歴書や自己アピール書類の作成をおこない、就職活動の基礎を学ぶ。 | 2・通 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| | ○ | | | キャリアガイダンス(2) | 個人面談の実施や企業選びをする上で必要となる求人票の見方(社会保険・福利厚生)について学ぶ。 | 3・通 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| | ○ | | | キャリアデザイン(1) | 将来の仕事をイメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学ぶ。 | 1・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | キャリアデザイン(2) | 企業研究をはじめ、仕事へのかかわり方、働く上で注意する点などをグループワークを交えて学ぶ。 | 2・後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | コミュニケーショントレーニング | ペット業界で求められる仕事への取組み方や心構え、業界理解と接客に必要とされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。 | 1・通 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| | ○ | | | パソコン実習(1) | 「Microsoft Word」を使用しての文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得します。また、文書処理能力検定試験(ワープロ)の対策にも取り組む。 | 1・通 | 60 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | ○ |
| | ○ | | | パソコン実習(2) | 「Microsoft Excel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などに役立てる技術を学びます。文書処理能力検定試験(表計算)の対策にも取り組む。 | 2・通 | 60 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | ○ | |
| | ○ | | | パソコン実習(3) | 1・2年次に学んだWord、Excelの応用技術を学び、さらに「Microsoft PowerPoint」を使用してのスライド作成から発表までを学ぶ。 | 3・前 | 30 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | ○ | |
| | ○ | | | ビジネスマナー | 社会人として必要なビジネスマナー(一般常識、職務知識、マナー・接客等)について全般的に学びます。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。 | 1・前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | | POP広告実習(1) | POP広告の種類や色の効果、ペンの使い方など広告作成における知識を学び、実際の商品をモデルにした広告の作成を行い作成能力を身に付ける。 | 1・後 | 30 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | ○ |
| | ○ | | | POP広告実習(2) | ペット用品や季節、客層などの状況に合わせた広告を実際に作成し、見やすくわかりやすい広告の作り方を学ぶ。 | 2・前 | 30 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | ○ |
| | ○ | | | POP広告実習(3) | 2年次までに身につけた作成技術を応用したPOP作成と動物のイラストを学び、より高度な内容の広告作りを身に付ける。 | 3・通 | 60 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---------------|--|-----|-----|---|---|--|--------------------|---|---|---|
| 13 | ○ | | 愛玩動物飼養管理学 | 動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。 | 1・通 | 60 | 4 | ○ | | ○ | ○ | | |
| 14 | | ○ | 愛玩動物飼養管理士1級対策 | 「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物（ペット）の愛護及び適正飼養管理の普及啓発活動などを行うために必要な知識を学ぶ。 | 2・通 | 60 | 4 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 15 | | ○ | 愛玩動物飼養管理士2級対策 | 動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。 | 2・後 | 30 | 2 | ○ | | ○ | ○ | | |
| 16 | ○ | | 犬学（1） | 犬の起源や習性、本能、繁殖についてなど犬に関する知識を学ぶ。 | 1・通 | 60 | 4 | ○ | | ○ | | | ○ |
| 17 | ○ | | 犬学（2） | JKCで認定している各犬種についての知識とグループ毎の成り立ちと特徴、犬に関わる専門用語を学ぶ。 | 2・通 | 60 | 4 | ○ | | ○ | | | ○ |
| 18 | ○ | | 犬の健康管理 | 家庭での健康管理法や代表的な病気と症状、避妊・去勢のメリット・デメリットなどを正しく理解する。 | 2・通 | 60 | 4 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 19 | ○ | | グルーミング（1） | グルーミング作業に必要な知識と技術を講義と実習で学びます。基本的作業に加え、安全に作業を進める上で必要な保定方法も身に付ける。 | 1・通 | 180 | 6 | △ | | ○ | ○ | | ○ |
| 20 | ○ | | グルーミング（2） | グルーミング作業に加え、カットやクリッパーを使用しての作業の仕方を学びます。また、飼い主様に対する接客方法も実技を通して学ぶ。 | 2・通 | 180 | 6 | △ | | ○ | ○ | | ○ |
| 合計 | | | | 36 科目 | | | | | | 2,940単位時間（ 134 単位） | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|--|--|----------|-----|
| 各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者。また、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認められた者とする。 | | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | | 1学期の授業期間 | 15週 |

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。